

船舶無線電信施設法案特別委員會議事速記録第一號

委員氏名

委員長 侯爵大隈 信常君
副委員長 淺田 德則君

子爵五辻 治仲君
男爵郷 誠之助君
男爵伊藤 文吉君
橋本圭三郎君
鍋島桂次郎君
平尾喜三郎君
溝手保太郎君

大正十四年三月十三日(金曜日)午前十時
十四分開會

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレデヤ是カラ會議ヲ開キマス、政府委員ノ御説明ヲ伺ヒマス

○政府委員(植原悦二郎君) 大臣ガ參ラレマセヌカラ、私ガ代テ簡單ニ此提案ノ理由ヲ御説明申シマス、船舶ニ無線電信ヲ強制シナケレバナライト云フ一般ノ世論ノ起リマシタコトハ、大正元年ニ御水知ノ如ク「ホワイトスターライン」ノ有名ナ「タイタニック」ガ大西洋ニ於テ沈没シテ非常ニ多數ノ人命ヲ失フタト云フコト、一面ニ於テハ無線電信ト云フモノガ非常ニ確實ニ發達シタ、斯様ナ二ツノ方面カラ船舶ニ無線電信ヲ成ベク附ケサセテ、サウシテ航海中ニ於ケル所ノ生命財産ノ安全ヲ期スルト、斯ウ云フ趣意デ大正元年ノ頃「タイタニック」ノ實況ニ鑑ミマシテ、倫敦ニ於テ英米佛ヲ中心ト致シテ大西洋ノ主ナル海運事業ニ從事シテ居ル十一箇國ガ寄リマシテ、船舶ニ無線電信ヲ強制スルト云フ國際協約ヲ作リマシタガ、御承知ノ如ク大正三年ニ歐洲戰

争ガ始マリマシタガ故ニ、倫敦ノ協約ガ各國ニ批准サレズニ、其當時暫クノ間濟ミマシタケレドモ、各國トモ必要ヲ感ズルガ故ニ英國モ米國モ佛蘭西モ既ニ之ヲ強制イタシテ居リマス、米國ノ如キハ其汽船タルト帆船タルトヲ問ハズ二千噸以上ノ船ニハ之ヲ強制イタシテ、斯様ナ狀態ニナツテ居リマス、英國ニ於テハ千五百噸以上ノ船舶デアレバ、之ヲ強制スルコト、又十三人以上ノ旅客ヲ載セル船舶デアラナラバ噸數ノ如何ニ拘ラズ之ヲ強制スルコトニナツテ居リマス、デ最近船舶ニ無線ヲ強制スル法律ヲ作リマシタノハ佛蘭西デアリマスガ、佛蘭西ハ噸數ニ於キマシテ二千噸以上ノ船ニ強制スルコト、又噸數ノ如何ニ拘ラズ人員五十人以上ヲ登載スルモノハ之ヲ強制スル、斯ウ云フ法律ヲ定メマシタ、ドンナ船マデモ無線電信ヲ持ツテ居レバ、ソレダケ災害ヲ防止スルコトノ出來ルコトハ勿論デアリマスケレドモ、海運事業ノ發達ヲ計リマスニハ、餘程船舶ノ點モ考慮シナケレバナライト云フコトデ、斯様ナコトヲ考ヘマシテ、大體ニ於テ此法律ハ佛蘭西ノ例ニ則リマシテ、二千噸以上ノ船舶ニ對シテハ無線ヲ強制スル、其以下ノモノデアリマシタナラバ人員ヲ五十人以上乗セルモノデアレバ之ヲ強制シナイ、斯様ナ立前ニ致シマシテ此法案ヲ作り、茲ニ皆様方ノ御審議ヲ求メル爲ニ提案シタ次第デアリマス、ドウ致シマシテモ、日本ノ如ク世界有數ノ海運國ト致シマシテハ、海運事業ノ發達ヲ計ル爲メカラ、海上ニ於ケル所ノ生命財産ヲナルベク安全ニスルト云フコトノ必要ガアル、殊

ニ國際上有力ナル所ノ海運國ニ於テハ皆之ヲ實行シテ居リマスルガ故ニ、日本ニ於テモ之ヲ實行スルコトガ適當ト考ヘマシテ、本案ヲ提案スル次第デゴザイマス、何トゾ御審議ノ上御協賛ヲ賜ラバ仕合セト存ジマス

○橋本圭三郎君 此費用ノコトハ、參考書ニ書イテアルヤウデゴザイマスガ、極ク簡單ニ我々ニ分ルヤウニ大キイモ小サイモ色アルデセウガ、費用カ幾ラ掛ルノデアリマスカ、チヨット

○政府委員(植原悦二郎君) 大體無線電信ノ裝置ニ付キマシテ二種類ゴザイマスガ、火花式ト真空管式ト：火花式デアリマシタナラバ、五千圓位、真空管式デアリマシタナラバ七千圓位、斯様ニ計算シテ居リマスガ、ソレニ致シマシテ船ニ幾分ノ容積ヲ作ラナケレバナラス、ソレカラ又ソレ等ノ爲ニ設置スル場所モ設ケナケレバナラス、斯様ニ考ヘマスノデ、先ゾ概算シテ完全ナ裝置ヲ致シマシタナラバ、一萬圓見當掛ルグラウト斯様ニ見積テ居リマス

○橋本圭三郎君 今ノ凡ソ一萬圓ト云フ中ニハ人ノ給料モ這入ッテ居リマスカ

○政府委員(植原悦二郎君) ソレハ無線電信裝置ヲ作りマス費用デゴザイマシテ、ソレヲ用ヒマスル、又其幾分ノ減損費等ヲ見テ、維持費ヲ見積、テ置キマスレバ、月々三百圓見當ハ掛ラウト思フテ居リマス
○子爵五辻治仲君 此技手デゴザイマスガ、是ハドウデゴザイマセウ、陸上ナラ隨分ゴザイマセウガ、海ニ乗ルニハ隨分不適當ナ體格ノ者モアリマセウシ色ニアリマ

セウガ、其途ハ御考慮ニ勿論ナツテ居ルデセウガ、ドウ云フモノデアリマスカ

○政府委員(植原悦二郎君) 唯今デハ主トシテ無線電信技手ハ電信協會ノ方デ年々ニ、三百人ツツ採リマシテ、サウシテ之ヲ養成シテ居リマス、嚴重ナ體格檢査モ致シテ居リマス、併シ技術方面モ十分教ヘマシテサウシテ選省デ要求スル所ノ資格即チ技手トシテ一級ニ級等資格ヲ得テ出ルコトニナツテ居リマス、唯今日迄之ヲ強制シテ居リマセヌガ故ニ、可ナリ大キナ船ハ皆持ッテ居リマスケレドモ、マダ持タナイ船モ可ナリアリマス、ソレ等ニ之ヲ一時ニ強制スルト致シマスルト、今迄需要ノナカッタモノデアリマスカラ一時ニ之ヲヤルトスレバ、ソレ等ヲ充タスダケノ人ハ足りナカラウト思ヒマス、大體ニ於テ假ニ之ヲ一時ニ強制スルト三百四十人見當ノ不足ヲ來タシハシナイカト、斯様ニ全體ノ上カラ計算致シテ居リマス、故ニ此法律ハ斯様ニ定メマシテ、サウシテ船主ニ對シテモ十分ニ準備ヲサセルダケノ猶餘ヲスルト云フノデ一年後ニ之ヲ施行スルコトニ方針ヲ立ッテ居ルノデアリマス

○男爵伊藤文吉君 第一條ノ末項ハ是ハドウ云フヤウナ規定ヲ大體設ケル御考デアリマスカ、一寸伺ッテ置キマス
○政府委員(植原悦二郎君) 伊藤男爵ノ御質問ハ御尤モダト思ヒマスガ、先刻申上ダタ通り二千噸以上ノ船ニナリマスレバ可ナリ強制致シマシテ、經濟上ノ收支償フコトニナリマスシ、打撃モナイ、大體ニ於テ斯様ニ考ヘテ居リマスガ、其以下ノ船デアリ

マシタナラバ、御承知ノ通り五十人以上ヲ搭載スル場合ニハスル、斯ウ云フ法ノ立前ニ致シテアリマスカラシテ、大體ニ於テ、ヨシ之ヲ五十人以上ノ人員ヲ搭載イタシテ居リマシテモ五百噸未満ノモノナラバ、之ヲ強制シナイ、ソレカラ強制サレベキ素質ヲ持ッテ居ル船舶アリマシテモ、其航海スル所ノ路ガ海岸ノ百海里以内ニ航行スル船舶ニハ之ヲ強制シナイ、勿論其沿岸ニ於テモ比較的危險ノ伴フコトモアリマセウケレドモ、無線電信ノ裝置ガナクモ之ヲ救助スル途ガ付クト斯様ナ意味デ近海……ソレカラ遠洋ニ航行スル船舶ニハ之ヲ強制スル、ソレナラ例ヘバ五十人以上載セテ居ッテモ五百噸未満ノモノニハ之ヲ強制シナイ、斯様ニ之ヲ定メル趣意デ第一條ノ末項ガ規定サレテアルノデアリマス

○男爵伊藤文吉君 此末項ガゴザイマス、第一項第二號ト云フモノガ無クテモ宜イヤウニ思ヒマスガ、ドウ云フ關係ニナリマセウカ、ト云フ意味ハ二千噸以上……二千噸以下ニ付テハ、末項デ總テ是デ通信省令デ出來ルヤウニ見ヘマスノデ、其關係ハドウデアリマセウ

○政府委員(植原悦二郎君) ソレハ左様デゴザイマス、此末項ノ規定デハ、唯今申上タル通り五百噸未満ノモノニハ之ヲ強制シナイ、又沿海ノ百海里以内ノミニ限ッテ航行スル物ニハ之ヲ強制シナイ、又或特殊ナ場合デアリマシテ、假令二千噸以上ノ船舶モ廻航スル爲トカ、或ハ或場合ニ於キマシテ五十人以上救助ノ爲ニ人ヲ乗セタヤウナ場合、特殊ナ場合ニハ之ヲ強制シナイ規定ヲ定メルノデ、原則ト致シマシテハ第一ノ二トシテアル二號ノ方ノ規定デゴザイマスガ、之ヲ原則トシテハ、五十人以上ノ人ヲ乗セル船舶ニ對シテ之ヲ強制スル、二千噸

以下ノ船舶デゴザイマシテモ、五百噸未満ノモノハハ別デアリマス、サウ云フ意味ニ於テ此第一第二ノ項目ヲ掲ゲテ置ク必要ガアツテ之ヲ規定スル譯デアリマス

○男爵伊藤文吉君 ソウ致シマスルト當局ノ御豫想ハ五噸以上例ヘバ千五百噸級ノモノハ總テ強制サレル御考デアリマス

○政府委員(植原悦二郎君) ソレハ五十人以上乗セテ居ラナケレバ強制イタシマセヌ

○男爵伊藤文吉君 無論五十人以上デアリマス

○政府委員(宮崎清則君) 唯今伊藤男爵ノ御尋ハ御尤デアリマスガ、通信省令デハ別段規定ヲ設クルコトニナリマシテ、其規定ノ内容ハ大體先程來他ノ政府委員カラ申上ダタ通りデアルトスレバ、其二號ノ船舶本法ノ強制ヲ受ケルト云フモノハ少クナル、併ナガラ先程來申上ダテ置キマスヤウニ、此別段ノ規定デ設ケマスルノハ、大體總噸數五百噸未満ハ除外スル、五百噸以上デアリマシテモ、現在ノ航路トシテ定メラレタ近海ニシマシテ、大體百哩以内ニ在ルモノハ之ヲ免除シヤウト云フ考デアリマスガ、矢張り五十人以上積ンデ居ッテ五百噸以上二千噸未満ノモノデモ、其範圍ヲ超ヘテ歩クモノモアルノデアリマス、サウ云フ者ニ對シマシテハ、絕對ニ強制サレルト云フコトニナル、ソレデ尙此際ニ申上ダマスガ、五百噸未満ノモノヲ解放スルト云フコトハ、先ヅ五百噸未満ノモノハ先程來申上ダタヤウニ思ヒマスガ、經濟上ノ負擔力ハ非常ニ弱イト云フノト、ソレカラ構造上、設備ト云フコトニ非常ニ困ル、ト云フノハ無線ノ設備ヲ致シマスルノニ相當ノ容積ヲ要スル、殊ニ又客船デモ實ハ此電氣ノ裝置ガ無

イ奴モアリマスカラ、斯ウ云フモノハ電氣裝置カラヤリマス絶対ニ出來ヌト云フテモ宜イモノデアリマス、サウ云フモノニ強制スルト云フコトハ廢船ニシテ仕舞フコトニナル、サウスレバ廢船ニシテ宜シイノデゴザイマスガ、一時ソレガ爲ニ行通ガ非常ナ不便ヲ蒙ムルト思フ、而シテ一面カラ見レバ五百噸未満ノヤウナモノガアル、モウ一ツハ先ヅ海岸ニ接近シテ居ルヤウデアルカラ、縱シ海難ガ起ッテモ交通ノ頻繁ナ所デアルカラシテ、自然他ノ船ニ發見サレル、或ハ陸地カラ救助スルノニ比較的容易デアルトカ云フヤウナコトデ、之ヲ除外スルコトニ致シマシタノデ、各國ニ於キマシテモ大體此小型船ニ對シテハ強制ヲ致シテ居リマセヌノデス

○淺田德則君 此遠海ノ方デ設備ノ無イ爲ニ危險ニ陥ッテ仕舞タト云フ統計ハ御分リニナッテ居リマセウカ

○政府委員(宮崎清則君) 實ハ此無線ノ無イ爲ニドノ位ノ被害ガアツカト云フコトハ、是ハ甚難カシイノデアリマス、サウシテ海難ノ中ニハ御承知ノ通り乗上ダモアリ、衝突沈没モアリ、又行方不明、波浪ノ爲ニ船舶ノ沈没スルト云フヤウナコトモゴザイマス、乗上トカ衝突デアルトカ云フヤウナコトハ、是ハ無線ノ有無ニ拘ラズアルコトト思ヒマスガ、波浪ノ爲ニ沈没スルトカ、或ハ行方不明ト云フヤウナモノハ、概シテ無線ガアツタナラバ、人命ハ救助シ得タデアラウト想像サレルノデアリマス、デ其正確ナ數字ハ甚難カシイト申シマスルノハ、相當ナ大キナ船ノ統計ナラバ明瞭ニ明リマスケレドモ、小サナ船ハナカ……分リマセヌ、隨ッテ此遭難ノ統計ト云フモノハ今日ハ不確實デアリマス

○淺田德則君 其二千噸以上デモ分リマセヌカ

○政府委員(宮崎清則君) 大體ノ所ハ分、テ居リマスガ、而カモ其統計ハ甚ダ遺憾ナコトデアリマスガ、大震災ノ際ニ一部分燒イテ統計ヲ失ッタヤウナコトデゴザイマスノデ……

○淺田德則君 若シアレバ後カラデ宜シウゴザイマス、ソレカラ近イ處ト遠海ノソレノ區別ガ御分リニナレバソレモドウゾ願ヒマス、ソレカラ尙ホ是ハ大體私ハ必要ナコトト思フノデアリマス、陸上トノ關係デス、陸上デソレヲ受ケル所ノ設備ト云フモノハ、我が國デハドノ位ニナッテ居ルノデスカ、私ハ船ノコトハ餘リ詳シク調べテ居ナイモノデスカ

○政府委員(宮崎清則君) 大體此處ニ無線局ノ位置ヲ設ケタ圖ガゴザイマスカラ御覽ニ入レマセウ

○政府委員(島山敏行君) 陸上ニ於キマスル無線電信局ハ精シイ統計ハ今記憶致シテ居リマセヌ、約三十線程アリマスノデ航行中ノ船舶ガ危險ノ信號其他通信ヲ致シマス場合ニハ、何處カヘ必ズ響イテ參ルノデアリマス、而シテ危險ノ信號ガアリマシタナラバ、其信號ヲ受ケタ局デハ如何ナル通信ヲヤッテ居リマシテモ、其通信ヲ差止メマシテ、危險ノ信號ノアリマシタ時分ノ無線電信ニ應ジナケレバナラヌ義務ヲ有ッテ居ルノデアリマス、無論近海ヲ航行シテ居ル船カラ打チマシタ電報ハ、必ラズ何處カヘ感ジテ參リマス、ソレデゴザイマスノデ、殊ニ日本ノ各方面ニ於テ、相當ノ距離ニ於テ分布サレテ居リマスカラ、事實ニ於テ船舶ノ方ニ無線電信ヲ施設致シマシテ之ヲ打チマシタナラバ、現在ノ施設ニ依リマシテハ、現在以上ニ陸上ノ無線局ヲ殖ヤサナク

○政府委員(植原悦二郎君) 五十人以上乗セテ居レバ強制シマス

○政府委員(宮崎清則君) 唯今伊藤男爵ノ御尋ハ御尤デアリマスガ、通信省令デハ別段規定ヲ設クルコトニナリマシテ、其規定ノ内容ハ大體先程來他ノ政府委員カラ申上ダタ通りデアルトスレバ、其二號ノ船舶本法ノ強制ヲ受ケルト云フモノハ少クナル、併ナガラ先程來申上ダテ置キマスヤウニ、此別段ノ規定デ設ケマスルノハ、大體總噸數五百噸未満ハ除外スル、五百噸以上デアリマシテモ、現在ノ航路トシテ定メラレタ近海ニシマシテ、大體百哩以内ニ在ルモノハ之ヲ免除シヤウト云フ考デアリマスガ、矢張り五十人以上積ンデ居ッテ五百噸以上二千噸未満ノモノデモ、其範圍ヲ超ヘテ歩クモノモアルノデアリマス、サウ云フ者ニ對シマシテハ、絕對ニ強制サレルト云フコトニナル、ソレデ尙此際ニ申上ダマスガ、五百噸未満ノモノヲ解放スルト云フコトハ、先ヅ五百噸未満ノモノハ先程來申上ダタヤウニ思ヒマスガ、經濟上ノ負擔力ハ非常ニ弱イト云フノト、ソレカラ構造上、設備ト云フコトニ非常ニ困ル、ト云フノハ無線ノ設備ヲ致シマスルノニ相當ノ容積ヲ要スル、殊ニ又客船デモ實ハ此電氣ノ裝置ガ無

イ奴モアリマスカラ、斯ウ云フモノハ電氣裝置カラヤリマス絶対ニ出來ヌト云フテモ宜イモノデアリマス、サウ云フモノニ強制スルト云フコトハ廢船ニシテ仕舞フコトニナル、サウスレバ廢船ニシテ宜シイノデゴザイマスガ、一時ソレガ爲ニ行通ガ非常ナ不便ヲ蒙ムルト思フ、而シテ一面カラ見レバ五百噸未満ノヤウナモノガアル、モウ一ツハ先ヅ海岸ニ接近シテ居ルヤウデアルカラ、縱シ海難ガ起ッテモ交通ノ頻繁ナ所デアルカラシテ、自然他ノ船ニ發見サレル、或ハ陸地カラ救助スルノニ比較的容易デアルトカ云フヤウナコトデ、之ヲ除外スルコトニ致シマシタノデ、各國ニ於キマシテモ大體此小型船ニ對シテハ強制ヲ致シテ居リマセヌノデス

○淺田德則君 此遠海ノ方デ設備ノ無イ爲ニ危險ニ陥ッテ仕舞タト云フ統計ハ御分リニナッテ居リマセウカ

○政府委員(宮崎清則君) 實ハ此無線ノ無イ爲ニドノ位ノ被害ガアツカト云フコトハ、是ハ甚難カシイノデアリマス、サウシテ海難ノ中ニハ御承知ノ通り乗上ダモアリ、衝突沈没モアリ、又行方不明、波浪ノ爲ニ船舶ノ沈没スルト云フヤウナコトモゴザイマス、乗上トカ衝突デアルトカ云フヤウナコトハ、是ハ無線ノ有無ニ拘ラズアルコトト思ヒマスガ、波浪ノ爲ニ沈没スルトカ、或ハ行方不明ト云フヤウナモノハ、概シテ無線ガアツタナラバ、人命ハ救助シ得タデアラウト想像サレルノデアリマス、デ其正確ナ數字ハ甚難カシイト申シマスルノハ、相當ナ大キナ船ノ統計ナラバ明瞭ニ明リマスケレドモ、小サナ船ハナカ……分リマセヌ、隨ッテ此遭難ノ統計ト云フモノハ今日ハ不確實デアリマス

○淺田德則君 其二千噸以上デモ分リマセヌカ

○政府委員(宮崎清則君) 大體ノ所ハ分、テ居リマスガ、而カモ其統計ハ甚ダ遺憾ナコトデアリマスガ、大震災ノ際ニ一部分燒イテ統計ヲ失ッタヤウナコトデゴザイマスノデ……

○淺田德則君 若シアレバ後カラデ宜シウゴザイマス、ソレカラ近イ處ト遠海ノソレノ區別ガ御分リニナレバソレモドウゾ願ヒマス、ソレカラ尙ホ是ハ大體私ハ必要ナコトト思フノデアリマス、陸上トノ關係デス、陸上デソレヲ受ケル所ノ設備ト云フモノハ、我が國デハドノ位ニナッテ居ルノデスカ、私ハ船ノコトハ餘リ詳シク調べテ居ナイモノデスカ

○政府委員(宮崎清則君) 大體此處ニ無線局ノ位置ヲ設ケタ圖ガゴザイマスカラ御覽ニ入レマセウ

○政府委員(島山敏行君) 陸上ニ於キマスル無線電信局ハ精シイ統計ハ今記憶致シテ居リマセヌ、約三十線程アリマスノデ航行中ノ船舶ガ危險ノ信號其他通信ヲ致シマス場合ニハ、何處カヘ必ズ響イテ參ルノデアリマス、而シテ危險ノ信號ガアリマシタナラバ、其信號ヲ受ケタ局デハ如何ナル通信ヲヤッテ居リマシテモ、其通信ヲ差止メマシテ、危險ノ信號ノアリマシタ時分ノ無線電信ニ應ジナケレバナラヌ義務ヲ有ッテ居ルノデアリマス、無論近海ヲ航行シテ居ル船カラ打チマシタ電報ハ、必ラズ何處カヘ感ジテ參リマス、ソレデゴザイマスノデ、殊ニ日本ノ各方面ニ於テ、相當ノ距離ニ於テ分布サレテ居リマスカラ、事實ニ於テ船舶ノ方ニ無線電信ヲ施設致シマシテ之ヲ打チマシタナラバ、現在ノ施設ニ依リマシテハ、現在以上ニ陸上ノ無線局ヲ殖ヤサナク

○政府委員(植原悦二郎君) 五十人以上乗セテ居レバ強制シマス

テモ目的ヲ達スルカト思フ

○橋本圭三郎君 私シテヨット分ラヌノデ
同ノノデスガ、此旅客ガ航行中ニ此無線電
信ヲ頼ンデ打ツテ貰フト云フ其コトニ對シ
テ、何カ一定ノ料金ヲ拂フトカ何トカ云フ
ヤウナ規則ガ何所カアルノデアリマスカ、
ドウ云フコトニナツテ居リマスカ

○政府委員(富山敏行君) 無線電信ヲ旅客
ガ依頼シテ打ツト言ヒマスノハ、是ハ官設
ノ無線電信局ヲ置イテ居リマス船舶カ、或
ハ官設デナクシテ私設無線電信ヲ設ケテ
居ル船舶ニ於テハ、無線電信取扱所ト云フ
制度ヲ私設無線電信ヲ設備シテ居リマス船
舶ニ命ズルノデアリマシテ、其場合ニ於キ
マシテハ、無線電信ガ遞信省ノ取扱テ居
ル一般公衆用ノ無線電信ヲ取扱フベキ義務
ヲ負フテ居リマス、ソレデ唯今旅客船ニ備
付ケテ居リマス私設無線電信ニハ、事實ニ
於テ殆ド全部無線電信取扱所ヲ命ジテ居リ
マス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、一定
ノ料金ガ現在無線電信規則ト云フ省令ガ出
テ居リマスノデ、其省令ニ基イテ定メラレ
タ料金ヲ支拂ヒマシテ、ソレデ無線電信取
扱所ニ於キマシテ電報ヲ取扱フコトニナ
テ居リマス、丁度陸上デ申上ゲマススト云
フト、鐵道ノ驛デ電信ヲ扱フテ居リマス、其
電信ハ元々鐵道ノ營業、即チ汽車ノ運轉ノ
連絡上ニ使フテ居ル有線電信デアリマスガ、
ソレヲ旅客ノ便ノ爲ニ遞信省ニ於テ其鐵道
ノ驛ニ電信取扱所ヲ置クコトニ致シテ居リ
マス、サウ致シマスルト、普通ノ郵便局或
ハ電信局ニ於テ取扱ヒマスヤウニ其驛ニ於
テ電報ヲ取扱フテ居リマスガ、丁度ソレト
同様ノ形ニナル譯デアリマス

○淺田德則君 唯今ノニテヨット關聯シタ
コトデスガ、ソレハ平時ニ於テ多少其方カ
ラ收益ヲ見ルコトガ出來ルモノデアリマス

カ、收益ヲ見テ、サウシテ其經費ノ幾分ニ
充テルコトガ出來ルヤウニナルノデスカ、
私等モ航海シタ中デ屢、無線電信ヲ打ツコ
トガアリマシタガ、サウ云フ時ニハマア相
當ノ料金ヲ拂フノデスカラ、ソレハ相當ノ
收益ノアルモノデスカ

○政府委員(富山敏行君) 無線電報取扱所
ニ於テ扱ヒマシタ電報ノ料金ハ一應政府ノ
方ヘ皆收得致シマスノデアリマス、一通ニ
付テ率ヲ定メマシテ、其定メタ率ニ依リテ
通數ニ應ジテ、私設無線電信ヲ設ケテ居リ
マスル船主ノ方ヘ支拂ヒマスノデゴザイマ
ス、勿論此引合フカ引合ハヌカト云フコト
ハ、大體取扱マスル通數ノ數ニ依リマシ
テ、船ニ乗ッテ居リマスル旅客ノ數等ニ自
然關係シテ參ルコト、思ヒマスルノデアリ
マスガ、現在諸外國ノ方面、最も交通ノ頻
繁ナル方面ニ向テ居ル方面デハ可ナリ通
信モ多イコト、思ヒマスルノデ、サウ云フ所
ハ相當引合フ位ニナツテ居ルカト思ヒマス
ノデスカ、併シ細カイ計算ハチヨット此處
ニ持合セマセヌノデ、ソレ以上ノコトハ答
辯イタシ兼ネマス

○橋本圭三郎君 先キ伊藤男爵カラ御問
ニナツタ此第一條ノ末項ノコトデゴザイマ
スガ、先キ何ヲ所ニ依ルト、大分込入ッ
テルモノデアリマスカラシテ、ソレヲ法律
ニ掲ゲルト云フコトハ中ニ出來ナイノデ、
委任命令ニナツテ居ルノダラウト思フノデ
スガ、矢張り併ナガラ其性質ハ中ニ大切ナ
モノデアッテ、本當ヲ言ヘバ法律ニチヤン
ト書イテ、國民ニ皆知ラセルト云フコトガ
必要ナモノダラウトハ思フノデゴザイマス
ケレドモ、ドウモ大分込入ッテムヅカシイ
モノデアリマスカラ、矢張り外ノ各國ノ例
ナドモ此參考書ニチヨットアルヤウデスカ、
矢張り當該大臣ニ委任シテ法律ニ書カヌト

云フヤウナ例ガアルノデアリマスカ、チヨ
ト其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(宮崎清則君) 唯今ノ御尋ネ
通り、諸外國ニ於キマシテモ、餘程廣イ範
圍デ行政官廳ニ委任イタシテ居リマスノ
デ、其根本トナツテ居ル倫敦ノ會議、即チ
千九百十四年ニ倫敦ニ於テ協定サレマシタ
海上ニ於ケル生命ノ安全ニ關スル協定、其
協定ニ依リマシテモ餘ホド廣イ範圍ニ於テ
除外例ヲ設ケ得ルヤウニナツテ居リマス、ソ
レデ立法例ト致シマシテモ、英吉利並ニ英
吉利系統ノ所ニ於キマシテハ、航路ノ性質
又ハ航路ノ狀況等ニ照シテ、無線電信ノ裝
置ノ必要デアルトカナイトカ、又ハ不適當
デアルトカ云フヤウナコトガアレバ「ボー
ドオブプレート」デ其義務ヲ免除スル、ト云
フヤウナ概括的ノ規定ガアルノデゴザイマ
ス、ソレカラ佛蘭西、是ハ最近ノ立法例デ
アリマスガ、佛蘭西ノ立法例ニ依リマス
特殊ノ航海デアルトカ、又ハ極メテ短カイ
航海デアルトカ云フヤウナ航海ヲ爲ス船舶
ハ、政府ノ行政官廳ノ認可ヲ受ケテ、其義
務ヲ免除スルコトガ出來ル、又佛蘭西デハ
五百噸以上ニ千噸未満ノモノニ付テハ簡易
ナル裝置、即チ受信裝置デモ宜シイト云ウ
ヤウナコトガ出來ルヤウニナツテ居ル、其
他現在無線電信ノ強制法規ヲ施イテ居ル何
レノ國ニ於キマシテモ、相當廣汎ナル範圍
ノ委任ヲ行政官廳ニ致シテ居ルノデス

○男爵伊藤文吉君 丁度今ノ問題ニ關聯シ
マシテ、既ニ御質問ニナリマシタカ知レマ
セヌガ、第一條第一項但書デゴザイマス
ガ、「但シ航海ノ目的其他ノ事情ニ依リ已
ムコトヲ得スト認メラルトキ」云々、是
ハドウ云フヤウナ場合ヲ御想像ニナツテ居
ルノデスカ

○政府委員(宮崎清則君) 是ハ大體一定ノ
期間ヲ指定セズシテ猶豫スル場合ヲ想像シ
テ居ルノデ、例ヘバ此無線電信ノ設備ガナ
クテモ歩キ得ル航路カラ、即チ沿海ノ航
路カラ近海或ハ遠洋ニ：：イヤアベコベデ
アリマス、設備ノ必要トシナイ航路ノ或ル
場所カラ：：必要トスル場所カラ船ヲ持
テ來ル場合即チ廻航デアリマス、吾々ノ方
デ申シマスル廻航デアリマス、船舶廻航ノ
場合、ソレカラ無線電信ノ設備ヲ必要トシ
ナカッタ船舶ガ航路ヲ變ヘルトカ、或ハ噸
數ガ殖エルトカ云フヤウナ事カラシテ直チ
ニ其施設ヲ必要トスルヤウナ場合、又ハ外
國デ取得シタ所ノモノガ内地ニ之ヲ廻航ス
ル場合ニ直チニ其施設ヲスルト云フコトガ
出來ヌト云フヤウナ場合ヲ想像イタシマシ
テ、ソレ等ノ場合ニハ一定ノ期間ヲ指定シ
シタイト考ヘテ居リマス

○男爵伊藤文吉君 「航海ノ目的」ト云フノ
ハ今ノ中ニ含マレテ居リマセヌデゴザイマ
スカ

○政府委員(宮崎清則君) 「航海ノ目的」ハ、
例ヘバ此一時の：：此臨時ノ旅客ト私ノ
方デハ申シテ居リマス、サウ云フ一時の、
已ムヲ得ヌ事情デ一時旅客ヲ運ブト云フヤ
ウナ場合ニハ、是ハサウ云フ一時のニ旅客
ヲ運ブト云フ目的デヤテ居ルモノハ免除
スル、ト云フヤウナ場合ナドモ想像シテ居
ルノデアリマス

○男爵伊藤文吉君 是ハ問題ガ違ヒマス
ガ、此方ハ例ヘバ關東州大連アタリニ籍ヲ
置キマスル日本船舶ガ、支那ノ沿岸ヲ航行
スル場合ニ適用ガゴザイマスデゴザイマセ
ウカ

○政府委員(宮崎清則君) 植民地ノ船デア
リマシテモ、ソレガ此法律ノ規定ニ照シテ
強制ヲ要スベキ航路ヲ航行シテ内地ヘ這

入ッテ來ルト云フ場合ニハ、之ヲ強制イタスノデアリマス、併ナガラ具體的ニ例ヲ申上ダレバ、例ヘバ此朝鮮釜山アタリカラ内地ニ這入ッテ來ルト云フヤウナ場合ニハ、是ハ現在ノ船舶検査法規ニ於キマシテハ、之ヲ沿海航路ト認メテ居リマスカラシテ、釜山カラ下關ヘ這入ル場合ハ無論強制ハ致シマセヌ、ソレデハ此仁川カラ這入ッテ來ルノハドウカト云フヤウナ問題ニナリマスルガ、是モ船舶關係ノ法規デ、妙ナ言葉デアリマスケレドモ、該當航路ト云フノガアルノデアリマシテ、該當航路ト申シマスノハ内地ノ平水航路デアルトカ、或ハ沿海航路デアルトカ云フヤウナ航路デ、外國ニ於キマシテソレニ相當スルヤウナ似寄ッタヤウナ場所ハ、外國ニ於テモ平水ト見ル、或ハ沿海ト看做シテ、此間ダケヲ航行シテ居ル船ニ對シテハ、平水又ハ沿海ノ所ヲ航行シテ居ル船ニ命ゼラレテ居ル義務ダケシカ命ジナイト云フヤウナコトヲヤッテ居リマスノデ、從テ此朝鮮ノ沿岸ガ内地ノ此沿岸航路ニ照シテ、仁川ト釜山ノ間ガ沿海航路ト云フコトニ認メマスレバ、仁川釜山、更ニ釜山カラ内地ニ這入ッテ來ルモノハ矢張り強制ヲ受ケナイ、斯ウ云フコトニナリマス、尙ホ此際ニチヨット申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、ソレデハ此植民地ノ沿岸等ヲ如何ニスルカト云フ御疑ヒモアラウト思ヒマスガ、ソレハ今日ノ所デハ、先ヅ大體ニ於テ所謂該當航路トシテ取扱ッテ居リマスカラシテ、沿岸ヲ航行スル場合ニハ本法ヲ強制シナイ、斯ウ云フコトニナリマス

來スル、斯ウ云フモノニハ無線電信ノ設備ガナイヤウニ思ヒマスノデ、其必要ハ十分アリマスシ、日本船舶ノコトデアリマスルカラシテ、斯ウ云フ物ニ此法律ノ適用ト申シマスカ、斯ウ云フコトヲ強制ヲシテヤラヘル手段ハゴザイマセヌデゴザイマセウカ

○政府委員(宮崎清則君) 此法ハ植民地ノ船舶ニ適用スルヤウニナッテ居リマセヌ、若シ其必要ガアレバ植民地ニ個々ノ法制ヲ布クコトニナルノデアリマス、今日ノ所デ遮信省カラ提出イタシマシタ此法律案ハ、植民地ノ船ニハ適用ガナイ、内地ニ這入ッテ來ル場合、先程以來申上ゲタヤウナ關係ニナレバ適用ヲ受ケル、斯ウ云フコトニナリマス

○男爵伊藤文吉君 政府デ斯ウ云フ強制事項ヲ必要トセラレル場合ニハ、植民地ニ於テモ先ヅ是ハ必要ト認メナケレバナラヌト思ヒマス、政府ノ方針トシテ將來此法律ノ施設ヲセラル、以上、植民地ニ於テモ同様ナル法制ヲ施行セラルルコトニ御盡力、御努力ニナル御方針デアリマスカ

○政府委員(植原悦一郎君) 郵便ニセヨ朝鮮ト日本トハ特別ノ法規ヲ持ッテ居リマス、斯様な法律ガ遮信省デ出來マスル場合ニハ、自然植民地即チ朝鮮ヤ關東州デモ之ニ倣フテスルコトガ多ウゴザイマスカラシテ、自然左様ナコトニナラウト思ヒマス、斯様なコトガ必要デアルト云フコトニナリマスレバ、唯今ハ別々ナ船舶令ニ依ッテ取扱ッテ居ルカラ、此法律デ強制スルコトハ出來ナイト云フコトデ、自然サウ云フ結果ニナラウト思ッテ居リマス

○鍋島桂次郎君 六條ノコトニ付イテチヨット承リタイト思フノデスガ、是ハ無論外國ニ船舶ヲ有スル船ニ對シテモ之ヲ強制スルト云フ御趣意ダラウト思ヒマスガ、各

國ト條約上ノ差支ハゴザイマセヌカ

○政府委員(宮崎清則君) 是ハ今日無線電信ノ強制法規ヲ布イテ居リマス所ハ、何レモ内外船舶ヲ問ハズ強制ヲ致シテ居ルノデアリマス、日本船舶モ從ッテ此強制ヲサレテ居ル國ニ行キマスレバ、其國ノ法制ニ強制サレテ居ルノデアリマス、一向差支ナイコトト考ヘマス

○鍋島桂次郎君 支那モ左様デスカ、支那ノ船ヲ持ッテ來テモ適用サレマスカ

○政府委員(宮崎清則君) 無論適用スルコトニナリマス

○淺田德則君 唯今ノ外國ノ籍ニ居ル物モ、是ハ必ズ之ニ依ッテ支配サレルト云フコトニモナルノデスガ、例ヘバ我國ノ方デハ二千噸以上ト斯ウナッテ居テ、他ノ國ノ船ハ千五百噸若クハ千噸ト云フコトニナル場合ガアラウト思フノデスナ、サウスルト云フト二千噸ナラバ我國ト相互デ宜イ譯デアリマスケレドモ、ソレガ千五百噸ト云フト、例ヘバ亞米利加デサウ云フ規定ヲ拵ヘテ居ルト云フト、少シ其處ニ何カ損得ガアルヤウナ感ジガスルデスガ、ソレハドウデスカ、サウ云フ場合ハ……

○政府委員(宮崎清則君) 御説ハ御尤デアリマスガ、是ハ矢張り國ノ經濟事情、又ハ其航海ノ事情等ニ依リマシテ一樣ニヤルト云フコトハ甚ダ困難デアリマシテ、御説ノヤウニ現在英吉利デハ千六百噸デ、英吉利ト同ジ系統ノ國デハサウ致シテ居リマス、之ヲ日本ニ直ニ持ッテ來ルト云フコトハナカナカ困難デアル、而シテ歐羅巴デモ佛蘭西ノ如キハ二千噸ト云フコトニシテ居リマス、是ハ國ノ事情ニ依リマシテ統一スルト云フコトハ困難ダラウト思ヒマス、又一面カラ申シマスト國際ノ關係ヲ惹キ起スヤウナモノハ多クハ二千噸以上ノモノニナリ

マス、二千噸以下ノモノハ何等國際ノ關係ヲ惹キ起サヌノデアリマスカラ、大體ニ於テ差支ナイト考ヘテ居リマス

○淺田德則君 サウスルト日本ノ海運業ノ全體ガ、是ハ佛蘭西ニ依ッタ方ガ宜イト云フコトニナル譯デアリマスガ、日本ニハ隨分是カラ先キニモ船ハ益盛ニセナケレバナラヌノデスガ、ソレデソレヨリ以下ニ定ムル必要ハナイノデアリマスカネ、矢張り二千噸以上ト云フ……

○政府委員(植原悦一郎君) 佛蘭西ノ規則ノミニ依ッタト云フ譯デハゴザイマセヌ、只最近佛蘭西ニ出來テ、其規則ヲ見マシテ、是ガ日本ノ船舶ノ今日ノ狀態ハ二千噸ト定メマスレバ、船主ニ對シテモ經濟上ノ打撃ヲ與ヘズシテ實行シ得ル、斯様ニ考ヘタノデ、其例ハ佛蘭西ニモアル、佛蘭西ノ法律ヲ以テ參考トシタ、斯様な意味デゴザイマシテ、實際遠洋航路、外國ノ間ヲ航行シテ居ル船ハ段々大キクナリマシテ、今日二千噸以下ト云フモノハナイト申上ゲテ宜シカラウト思ヒマス、米國モ確カ二千噸ヲラウト思ヒマス、サウスルト譯デアリマスカラシテ、大體ニ於テ二千噸ト云フコトヲ編出シタ、佛蘭西ニモ立法例ガアル、日本ノ今日ノ船主ノ經濟上ノ狀態、船舶ノ價格等ヲ考ヘマシテ、國際上ニモ差支ナシ、又日本ノ船主ニ對シテモ經濟上ノ打撃ヲ與ヘルト云フコトナシニ實行ガ出來ル、斯様な現狀ニ鑑ミテ此法ヲ造ル次第ニ至ッタノデアリマス

○男爵伊藤文吉君 確カサッキノ御説明デハ、此法律ハ一年後ニ施行サレルト云フヤウナコトデアッタノデスガ、サウスルト……サウスルト一年後ト雖モ隨分通信ニ從事スル技手ト申シマスガ、所要ノ人ガ相當ニ要ルヤウデスカ、其養成ハドウデスカ

○政府委員(植原悦二郎君) 唯今電信協會

デ年々二百人乃至三百人ツ、其志望者ヲ採リマシテ養成イタシテ居リマス、デ郷男爵ハ先刻御聴キ下サツカドウカ存ジマセヌガ、之ヲ強制イタスト致シマスルト約九百餘ノ船舶ガ強制サル、コトニナルカト思ヒマスガ、其中デ大部分ハ無線ヲ有テ居ル物デアリマシテ、殘ル所三百何雙見當ガ、此法ヲ施行スルト致シマシテ強制ヲ受クベキモノニナルト思ヒマス、其人ガ足リナイ、斯ウ云フ譯デゴザイマスガ、ソレガ一體一級ニ於テ三百四十人見當ノ不足ヲ來タシハシナイカ、デ現在ニ居リマス所ノ一級二級ノ資格ノ技師ニ、ソレカラ電信協會デ養成シテ年々卒業シテ居ル人員ヲ調ベマシテ、サウシテ一年後ニ施行スレバ十分ニソレ等ノ必要ヲ滿スダケノ人員ガ得ラレル、斯様な確信ヲ以テ左様ニシタノデアリマス

○男爵郷誠之助君 是ハ一年後ニソレダケノ人員ガ得ラレルト云フコトデアリマスガ、是ハ大體ドンナ計數ニナツテ居リマスカ、ソレヲ私ガ伺ハントスルノハ、コウ云フ譯デアリマス、現在ニ於テ無線電信ノ需用ノ人員ガ大ニ切詰メニナツテ居ル爲ニドコノ船デモ、或場合ニ病氣トカナントカ云フト非常ニ困ルト云フコトデ、一向ユトリガナイト云フ今日ノ現狀デアル、然ルニ三百八艘ノ船ニ一年後ニ施カレルト云フコトニナルト、一年後ニ十分ニ使用サレル人員ガ得ラレルト云フコトデアリマスガ、安心ノ爲ニドウ云フヤウナ養成ノ仕方ニナツテ、ドウ云フヤウナ割合ニナツテ居マスカ、伺ヒマス

○政府委員(植原悦二郎君) 現在今年ノ本月初メノ調ベデアリマスガ、一級ノ有資格者ガ八百十二名ゴザイマス、ソレデ現在船舶無線ヲ有シテ居ルモノガ五百四十七艘

アリマシテ、其八百十二人ノ中デ、陸上ニ勤務スル者ガ三十一人、ソレカラ海上ニ勤務スル者ガ五百七十八人デ、總人員ノ七割一厘ダケノ勤務者ニナツテ居リマス、ソレカラ二級ニ致シマスと云フト、總計二級ノ資格者ガ六百二十四名アリマシテ、二百十一艘ノ船舶デ、二級ノ技手ヲ用キテ居ルモノガ二百三十一人、ソレカラ陸上ニ勤務シテ居ル者ガ十人、斯様な計算ガ陸上ノ勤務ノ者ガ剩テ居リマス、チヨット三割五分以上ノ者ガ就職シテ居ルダケデ、其他ノ者ハ剩テ居リマス、ソレカラ漁船ノ方ニ乗込ム有資格者ガ百二名アリマシテ、サウシテ是ガ十二隻ノ船ニ乗テ、是ハ餘程數ガ剩テ居リマス、ソレカラ三級ノ有資格者ガ六十七艘ノ船舶ニ七十四人勤務シテ居リマス、陸上ニ七人アツテ、是モ剩テ居ル計算ニナツテ居リマス、ソレカラ年々無線協會カラ二百人乃至三百人ダト記憶シテ居リマスガ、正確ノコトハ若シナンナラバ後トデ訂正イタシマス、ソレカラ其ノ志望者ヲ採リマシテ養成イタシテ居リマス、サウ云フ統計カラ有資格者ノ協會カラ出マシタ所ノ者ヲ合セマスと、一年後ニ之ヲ強制スレバ、此方ノ需要ヲ充タスダケノ人員ガアリマス、斯様な大體ノ統計ノ上カラ政府ハ見テ居ルノデアリマス

○橋本圭三郎君 モウ一ツ詰マラス事デステレドモ、此今ノ「レギュラー」ノ今ノ養成デモ受ケタ人デナイト云フト、只ノ水夫トカ、水夫長トカ云フヤウナ者ハ直ク習ヘルヤウナコトハ出來ナイカ、即チ非常ニ習フモノガ面倒ノモノデアリマスガ、ト云フノハ、五十人ト、ナントカ云フモノデアルノデアリマスガ、私ノ實際出會ハシタ實際見ル難船シタ船ハモット小サイ船デシタ、拵ヘ

ル時ノ金ハ七千圓トカ、八千圓デ出來ルト云フコトデアリマシテ、多クノ人ヲ平生雇フト云フコトガナクテ、船ノ人ガ：：：少シ柄口ノヤウナ人ガ習ヘバ直ク覺エルト云フコトデアルト云フト、非常ニ廣ク是ガ用キラレルヤウニナリハセヌカト存ジマスガ、餘程ムツカシイコトナンデスカ

○政府委員(植原悦二郎君) 御説御尤モト思ヒマスガ、大概此事ヲ專門ニ習ヒマシテ、今ヤツテ居リマスノガ、マア可ナリ詰メテ習ッテ、一年位掛ッテ、サウシテ一級位ノ技手ニナレルト、斯ウ云フ立前デアリマス、先日モ衆議院ニ於テ通信大臣ニ質問ガ出マシテ、通信大臣ノ御答モアツタデシタガ、商船學校ニ於テ運轉士トカ、或ハ機關士トカ云フモノニ、相當ニ之ヲ習ハシテ、簡單ニ習ハセルヤウニシタラドウデアラウ、大體ニ於テサウ云フ仕組ニナツテ居ルサウデアリマス、商船學校ニ於テハ簡單ニ：：：ソレデアリマスカラ遭難救助ノ爲ニ使フト云フ位ノコトナレバ、其裝置ガ出來マシテ、サウシテ相當教育アル者デ熟練ヲシマシタナラバ、萬一技手ニ故障ガアリマシテモ、運轉士、機關士ト云フモノガ操縦スルコトハ出來ルダラウト思ヒマス

○委員長(侯爵大隈信常君) 如何デスカ、モウ御質問ハゴザイマセヌカ：：：是デ決ヲ採リマセウカ、モウ少シ研究ナサル御必要ガアルデセウカ、如何デアリマセウカ：：：○橋本圭三郎君 私ハモウ宜カラウト思ヒマスガ：：：先ニ御請求ノ書類ハ後トカラ御廻シヲ願ッテモ宜カラウト思ヒマスカラ：：：○子爵五辻治仲君 今日決ヲ御採リニナツタラ如何デスカ

○委員長(侯爵大隈信常君) 御異議ナイト存ジマス、ソレデヤ相當ノ法案ト認メマシ

テ此處ニ確定スルコトニ致シマシテ如何デスカ

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレデハ本案ハ此處ニ滿場一致ヲ以テ可決ニナリマシタ

午前十一時十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵大隈 信常君

副委員長 淺田 德則君

委員 子爵五辻 治仲君

男爵郷 誠之助君

男爵伊藤 文吉君

橋本圭三郎君

鍋島桂次郎君

平尾喜三郎君

溝手保太郎君

國務大臣 遞信大臣 犬養 毅君

政府委員 遞信參事官 植原悦二郎君

遞信省通信局長 島山 敏行君

遞信省管船局長 宮崎 清則君

○委員長(侯爵大隈信常君) 如何デスカ、モウ御質問ハゴザイマセヌカ：：：是デ決ヲ採リマセウカ、モウ少シ研究ナサル御必要ガアルデセウカ、如何デアリマセウカ：：：○橋本圭三郎君 私ハモウ宜カラウト思ヒマスガ：：：先ニ御請求ノ書類ハ後トカラ御廻シヲ願ッテモ宜カラウト思ヒマスカラ：：：○子爵五辻治仲君 今日決ヲ御採リニナツタラ如何デスカ

○委員長(侯爵大隈信常君) 御異議ナイト存ジマス、ソレデヤ相當ノ法案ト認メマシ

貴族院朝鮮鐵道用品資金會計法案外一件特別委員會議事速記録正誤

大正十四年三月三十一日印刷

大正十四年四月一日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局